西九州大学短期大学部幼児保育学科では月に一回の割合で余暇支援活動（通称　ぽっぽ）を行っています。「ぽっぽ」では地域に住む発達障害のある、またはその可能性のある幼児・児童とその保護者が参加しています。具体的には下の写真にあるように、大型遊具で身体全体を使う活動をしたり、夏のレクリエーションキャンプや冬のクリスマス会に参加してもらいます。お子さん一人ひとりに学生が担当につきます。学生は技術的には未熟ですが、一生懸命子どもと関わります。学生はいずれ保育士として社会に飛び立ちますが、この活動を通して発達障害の子どもの特性を理解した保育者が増えることが期待されます。

ぽっぽは、つまり、子どもと保護者がゆっくり過ごす場所でもあり、学生が勉強する場でもあるのです。その点についてご理解いただきますと幸いです。

実際に大型遊具（トランポリン、スイング、ボールプール、スクーターボード、セラピーボール、バランスボード、巧技台）を使って遊びます。これらの遊具を組み合わせて様々な感覚刺激を遊びの中で体験するようになっています。身体を使った活動にお子さんと学生のやりとりを組み入れることで、お子さんはコミュニケーション能力を高めて、学生は保育者としての声かけの仕方や活動を通してお子さんの気持ちに寄り添うようになります。子どもも学生もいっしょに成長していくのです。

参加費は子ども 1 人につき 100 円の保険料のみです。きょうだいがいらっしゃる場合にも 100 円は頂きます。夏のキャンプなどは別途料金がかかりますが、多くは参加される家族の食費となります。その他のお金は受け取りません。

もし、ご興味がありましたら、下記連絡先へご一報ください。

西九州大学短期大学部幼児保育学科
川邊浩史（かわべ　ひろふみ）
メール　kawabeh@nisikyu-u.ac.jp
Tel 0952-31-3001（代表）
日中留守にしていることが多いので問合せはなるべくメールでお願い致します。

【準備の様子】

【普段の様子（月に１回）】

【夏のキャンプ】

【冬のクリスマス会】